

## 令和5年度 第4回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月2日（金）午後1時00分から午後2時45分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、石川隆久、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、木俣契一、石田潤司、小田木真砂子、藤田嘉代
- 4 欠席委員 伊勢聖
- 5 学 校 齊藤昌長（校長）、内山忠久（教頭）、古橋孝文（主幹教諭）、朝比奈愛子（CS担当職員）、内山尚子（CSディレクター）
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）
- 8 議長の選出

前回運営協議会後に議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### 9 協議事項

- (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り
- (2) 夢育やらまいかCS加算分の報告
- (3) 学校関係者評価について（いじめ防止基本方針について含む）
- (4) 令和6年度の経営方針について
- (5) 学校運営協議会の自己評価について

### 10 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り

議長の指示により、学校支援コーディネーターの小田木委員、藤田委員から、別紙に基づき活動経過報告があり、以下の発言があった。

- ・ 今年度はボランティアの参加人数も増え、講師を招いての講座も多く開催し学校支援活動が充実してきた。その中で見えてきた問題点、良かった点等を来年度は更に改善していけるよう、新年度の始まりに先生方と相談して進めていきたい。
- ・ 学校支援コーディネーターを後任に引き継ぎ、前任者も協力して今後も支援していきたい。

#### (2) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、内山教頭から別紙に基づき、夢育やらまいかCS加算分として6万円あり、ボランティア（気賀っ子応援団）への謝礼、飲料代を報償費、需用費から支出しているとの中間報告があった。

#### (3) 学校関係者評価について（いじめ防止基本方針について含む）

議長の指示により、古橋主幹から別紙に基づき、学校関係者評価について（いじめ防止基本方針について）のアンケート結果と改善策の説明があった。

- ・ 学校生活が充実している（楽しい）に関して、保護者、教職員の評価は約95%を示しているが児童の約10%が「あまりそう思わない」「わからない」と回答。これについて、子供たち全員が、本当に学校生活が充実し楽しいと思えるよう、個々に寄り添った対応をしていき、100%を目指したい。
- ・ 情報の発信（さくら連絡・ブログ）に関して、保護者の達成度が95%となり、昨年度85%を上回った。これは、昨年浜松市内の小中学校ホームページが統一され見やすくなったこと、また、学校長が中心となりブログをほぼ毎日更新（新しい写真等が掲載）されていることで保護者が興味をもって見てくださっているのだと嬉しく思っている。
- ・ 令和5年度から学校評価アンケートにいじめ防止の取り組みという項目が加わった。結果については、保護者の約30%が「わからない」「あまりそう思わない」との回答で、これは実際に当事者になっていないため分からなかったり、「気賀小いじめ防止の基本方針」が周知されていないからかもしれない。学校からの情報をもっとしっかり提供していかなければと思っている。
- ・ 目標をもって、一生懸命取り組むに関して、児童、教職員の達成率は80%を上回っているが保護者は70%を下回る結果だった。子供たちが、めあてや目標に向かって頑張っていることを、教職員も支援や指導をしていき、それを保護者にもわかるように伝えていくことが大事である。

以上の報告を受け、委員から以下の発言があった。

- ・ 気賀小の子供たちは本当に頑張っていると思う。「ありがとう集会」の出席者の人数で学校と地域の方々とのつながりが見え、これが学校が目指している形だと思った。（石川委員）
- ・ 少年団の中でいじめの発端が見えた時は、すぐに当事者から聞き取りをし、指導をしたり、いじめの芽を摘むよう心掛けたりしている。学校での先生方のいじめに対する日頃の努力がこのアンケート結果につながっていると思う。（田力委員）
- ・ いじめに関して、学校ではwebアンケートと心のアンケート（紙）を実施している。いじめが発覚した場合、事実確認を慎重に行い、重大事案にならないように心掛けている。（齊藤校長）
- ・ ボランティア（気賀っ子応援団）の人材探しは、いつでも協力するので、必要な時に声を掛けてほしい。（田力委員、長谷川委員）
- ・ 「厳しいけれど楽しい学校」について、厳しいとはどういうことか。（長谷川委員）
- ・ 気賀小のランドデザインは、職員が関わって作成している。ロードマップは子供たちに分かるように文言を変えた。「厳しい学校」について、気賀小では「一人一鉢」「気賀っ子パスポート（10の約束）」など取り組むことが多いと考えられる。しかし、これらを6年間かけて指導していくことが基本的な生活習慣、社会におけるルールやマナーを身に付けることにつながる。（齊藤校長）
- ・ アンケート結果は全体的に大変良い評価が出ていると思う。「家庭や地域との連携」のところで保護者の評価が低いのは、CSの活動を知らないだけなのでは。また、地域の方から子供たちへの関心は年々強くなっているが、子供たちが地域の方へのどのくらい関心をもっているのかわからない。お店探検や福祉の授業を通して、子供たちが地域に関心をもつことができれば、それが後に地域、家庭、学校が一体となっていくということになると思う。有事の際に地域のつながりがとても大事になるので、お互いに関心をもつような関係でありたいと思う。（山田委員）
- ・ 子供の方から地域へ働き掛けていく経験をさせたいが、時間が無くできないのが残念。休日に見守り活動（挨拶）のようなことができれば良い。（齊藤校長）
- ・ 大人が学校と関わっている姿をもっと発信できると良い。（石田委員）
- ・ 学校だけではなく家庭での教育も必要。（木俣委員）
- ・ CSについて保護者の認知度が子供や地域の方より低いと感じる。浜松市からの発信が弱いと思う。（藤田委員）
- ・ 150周年記念式典を子供たちが自分たちでつくるという形でできてよかった。CS活動の発信はとても大切だと思うが、保護者によって意識の差があるので100%の達成は厳しい。「学校運営協議会」のことを知らない人も多いので、周知、浸透させていければと思う。（小田木委員）
- ・ 今後CSとPTAの活動をどうリンクさせるか、うまく融合できないかということを考えていきたい。（齊藤校長）
- ・ CSの研修会に行くと、人が減ってCS活動ができない地域もあるため、気賀小はうまく活動できていると思った。（宮崎会長）

#### （4）令和6年度の経営方針について

議長の指示により、齊藤校長から別紙に基づき令和6年度の経営方針についての説明があり、協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

#### （5）学校運営協議会の自己評価について

今年度の取り組みの評価を踏まえた来年度の目標についての意見を求めたところ、委員から以下の発言があった。

- ・ 学校運営協議会の周知、情報発信の仕方を考えていく。学校、地域、保護者との連携が必要。（小田木委員）
- ・ 持続可能な学校運営協議会の取り組みを意識していきたい。（山田委員）

#### その他連絡事項等

- ・ 令和6年度学校運営協議会委員については、できればこのメンバーで任期まで続けていってほしい。また、PTA会長、学校支援コーディネーターについては交代があると齊藤校長より説明があった。